



「関東地方に発生する竜巻等の突風、被害と特徴」

突風による建築物や構造物の被害の報告は後を絶えず続いています。近年特に竜巻による甚大な被害が顕在化しており、例えば2012年5月には、つくば市をはじめ北関東地方に複数の竜巻が同時多発的に発生し、建築物の倒壊に伴う犠牲者も出ています。2013年にも、埼玉県越谷市等複数の地点に竜巻被害が発生しました。このような竜巻やダウンバーストのような突風は発生が局所的であるため、観測網にかかることは稀で、被害実態からその強さ等を評価せざるを得ません。本研究集会は、これまでに関東地方で発生している竜巻等の突風について、現地調査に基づく被害概要と、建築物や構造物に対する被害の発生メカニズム、気象学的な特徴などについて、研究者相互の情報交換を目的に開催するものです。ご関心のある方のご参加をお願い申し上げます。

前田 潤滋 (九州大学)

開催日時：2014年1月29日(水) 9:20~12:15

開催場所：東京工芸大学 中野キャンパス1号館 地下1階 大講義室

参加申込：事前登録制：wejurc+140129a@gmail.com に、ご氏名、ご所属、連絡先をお送りください。その他、お問い合わせは、東京工芸大学 風工学研究拠点 事務局 TEL:046-242-9658 までお願いいたします。

プログラム

9:20~9:30	主旨説明	前田 潤滋 (九州大学)
9:30~10:00	被害事例 1	神田 順 (日本大学)
10:00~10:30	被害事例 2	松井 正宏 (東京工芸大学)
10:30~11:00	被害事例 3	野田 稔 (徳島大学)
(休憩 10分)		
11:10~11:40	気象学的な特徴 1	小林 文明 (防衛大学校)
11:40~12:10	気象学的な特徴 2	山内 洋 (気象研究所)
12:10~12:15	まとめ	前田 潤滋 (九州大学)